

賀春



浅草寺

新春のご挨拶

台東区議会議長 木下悦希



新年、あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、台東区議会を代表いたしましてご挨拶申し上げます。

去年は、台東区発足60周年を迎え、「わがまち台東区」の将来を思い描き、さらなる発展に向けた新たなスタートとなる一年でございました。

6月には浅草地域のあるべき将来像や課題などをとりまとめた「浅草地域まちづくり総合ビジョン」の策定、9月には60周年記念事業として本区の産業を積極的にアピールする「地場産業まつり」「大商業まつり」の開催、10月には本区がめざすべき新たな健康づくりのあり方を発信する「新健康都市宣言」を策定いたしました。そのほかにも子育て支援や教育、健康・福祉等の施策をはじめ、産業・文化・観光・まちづくりなど、幅広い施策を着実に推進してまいりました。

また、寛永寺・上野公園、谷中の街並みが、「美しい日本の歴史的風土100選」に選定され、朝倉彫塑館が国の名勝に指定される運びとなるなど、改めて本区の財産である歴史・文化のすば

らしさを認識させられた年でもございました。

区議会にとりましても、議員の改選という大きな節目の年でありました。選出された32名の議員は、区民からの信託を胸に、新たな決意のもと、日々議会活動に邁進しております。

台東区政を取り巻く環境は、真の地方分権型社会への実現に向けた大きな流れのなか、基礎的自治体として地域の実情に即した区政運営が一層求められております。こうしたなか、複雑・多様化する行政ニーズにきめ細かく対応するには、行政の力のみならず、広く区民の皆さまのご協力をいただいくことが不可欠でございます。

区議会といたしましても、区民の皆さまとの協働を基本に、諸課題の解決に向けて全力をあげて取り組むとともに、開かれたより透明性の高い議会をめざし、なお一層の努力を重ねてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、平成20年が、区民の皆さまにとりまして、幸多き年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。